雑学書庫 知識の記録

友達が自分より多い理由、友情のパラドックス（Friendship Paradox）

記事のURL

https://www.gklibrarykor.com/ja/article/11238/

PDFレイアウトのプレビュー - 本文の一部のみ

SNSを眺めていると、ほかの人たちは自分より友達が多く、集まりも多く、いつも誰かと一緒にいるように見えます。もしかして自分だけ人間関係が狭いのではないかと思ってしまう瞬間です。ところが、この感覚の裏には性格や運ではなく、数字の構造が隠れています。 その構造を「友情のパラドックス（Friendship Paradox）」といいます。友情のパラドックスとは、簡単に言えば、ほとんどの人にとって自分の友達のほうが平均して自分より多くの友達を持っている現象のことです。誰かが特に人気がないから起こるのではなく、友人関係のつながり方そのものから自然に生まれる結果です。 本記事では、友情のパラドックスとは何か、なぜこのようなことが起こるのかを簡単な計算で確かめ、このパラドックスが感染症の監視や公衆衛生にどう使われているのか、そして私たちの心にどんな錯覚を残すのかまで、順に見ていきます。 友達が自分より友達が多い理由 友情のパラドックスとは この現象を初めて整理したのは、アメリカの社会学者スコット・フェルド（Scott L. Feld）です。 (1) 1991年の論文フェルドは1991年、『アメリカ社会学雑誌』に「なぜあなたの友達はあなたより友達が多いのか」という論文を発表しました。彼は、友人関係を人と人を結ぶ線として描くと、ほとんどの人が自分の友達の平均より少ない友達しか持たないことを示しました。